

農業工学特別研究 (4単位)

担当者氏名 豊田裕道・小梁川 雅・坂口栄一郎・竹内 康・中村好男・三原真智人・渡邊文雄・田島 淳・島田沢彦・鈴木伸治・岡澤 宏・佐々木 豊・藤川智紀・中村貴彦・村松良樹

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

農業工学に関わる博士号取得を目指し、また、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者あるいは高度専門技術者となるため、指導教授・指導准教授の指導の下に、研究課題を設定し、研究計画を立案するとともに、技術や研究手法を修得し、研究を実施し、その結果をとりまとめて公表する。農業工学に関わる研究の意義を理解し、立案から遂行、発表までを独立した研究者あるいは高度な専門家として実施、さらには、指導する人材として必要な見識と実力を得ることを到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域資源利用工学	農村環境工学	広域環境情報学	地水環境工学
社会基盤工学	水利施設工学	バイオロボティクス	農産加工流通工学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	博士号の意味や意義 (1～2週)	博士が社会に果たす役割と科学者倫理を学ぶ。	毎回、指導教員から与えられた事前準備等の予習をし、次回までに修正等の復習をすること。
2	研究課題 (3～5週)	関連文献を読んで、課題を決め、手法を学ぶ。	
3	研究計画 (6～13週)	研究の進め方を検討し、発表し、修正する。	
4	中間報告 (14～17週)	中間発表を準備し、発表し、研究の方向を評価する。	
5	博士論文の執筆と改訂 (18～24週)	執筆法を学び、内容を検討して改訂を重ねる。	
6	発表会 (25～27週)	発表会の目的や意義を理解し、準備して発表する。	
7	博士論文の完成 (28～30週)	発表会の質疑などを反映し、最終的な博士論文を完成する。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

論文の内容(70点)とプレゼンテーションの内容(30点)をもとに評価する。

◆オフィスアワー

授業初めに担当教員から指示がある。

◆その他受講上の注意事項

指導教員の教育方針を十分に理解し率先して研究に臨み、研究成果を査読付きジャーナル等に投稿できるような目標を持つこと。